

2020年12月期末 決算説明資料

～想いを世界に、GMOリサーチ～

GMO RESEARCH

STOCK CODE : 3695

代表取締役社長 細川 慎一
取締役CFO 森 勇憲

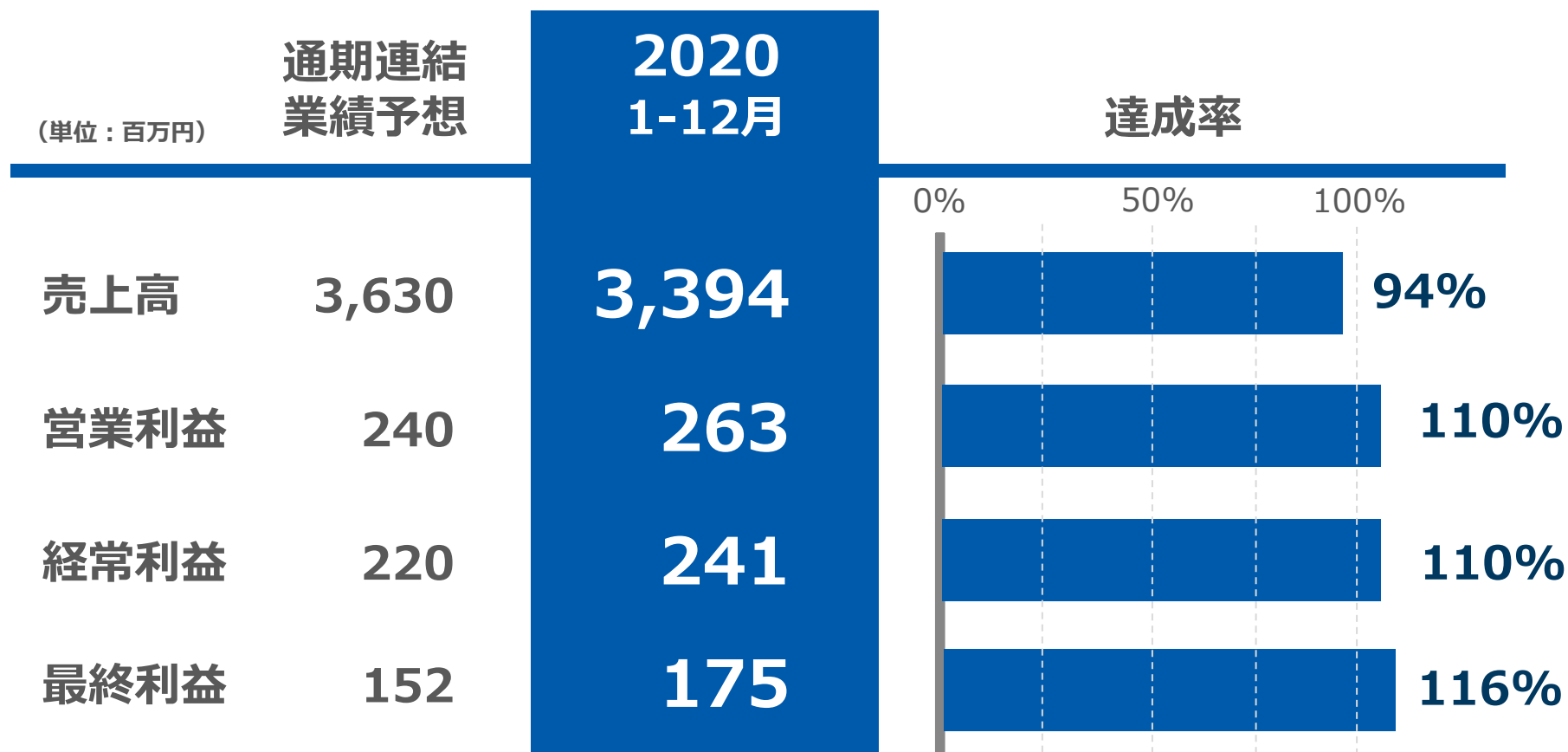
1. 結論と要約
 2. 決算概要
 3. 事業の概況
 4. 2021年事業戦略
 5. 2021年業績予想
 6. Appendix
- 質疑応答

1. 結論と要約

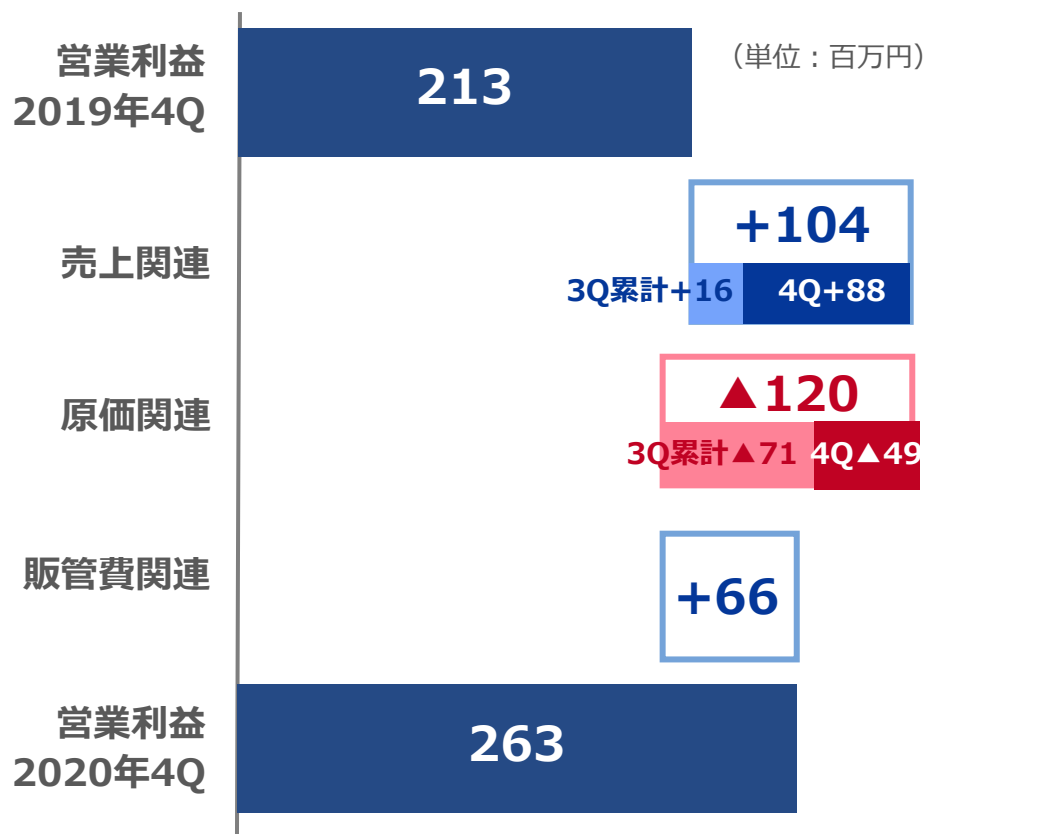
- 4Qの売上高は前年同期比+9.7%となり、四半期売上としては過去最高を記録
- 年間売上高は前期比+3.2%で着地し、年間売上としては過去最高を記録
- コロナ禍での不要不急の経費抑制、働き方変革、システム機能開発等による収益性改善により、営業利益以下の各段階損益は前期比+20%以上を確保して着地

(単位：百万円)	2019 1-12月	2020 1-12月	対前年同期 増減率
売上高	3,290	3,394	+3.2% 過去最高
営業利益	213	263	+23.7%
経常利益	193	241	+24.3%
最終利益	137	175	+27.9%

- 通期業績予想に対し、売上高は達成率94%で着地。4Qにおける海外のD.I.Y.サービスの伸び悩みが主な要因。
- 営業利益以下の各段階損益については、収益性の改善により、通期業績予想に対し、10%以上上回って着地。



- 年間粗利は前期比▲16百万円。3Q末時点で粗利▲55百万円だったが、4Qに主に売上回復を要因として粗利率が改善。
- 不要不急の経費抑制や働き方変革で販管費が減少し、年間営業利益は+50百万円



主な増減要因

- ・ 売上関連
コロナ禍で一時調査案件本数の減少がみられたが、4Qで前年同期比+9.7%、年間でもプラス成長で着地
- ・ 原価関連
高粗利率案件の減少や固定費原価の影響により、原価率が悪化、4Qの原価率は改善
- ・ 販管費関連
不要不急の経費の支出抑制などにより販管費を削減

業績に連動した配当（配当性向50%）を目標とする配当の基本方針により、2020年最終利益にもとづき、2020年度の配当予想を1株当たり53.86円に修正させていただいております。

	2019年度	2020年度	前年度比
	実績	(予定)	
1株当たり年間配当金（円）	42.11	53.86	+11.75
総配当性向（%）	50.2%	50.0%	▲0.2pt
1株当たり当期純利益（円）	83.95	107.73	+23.78

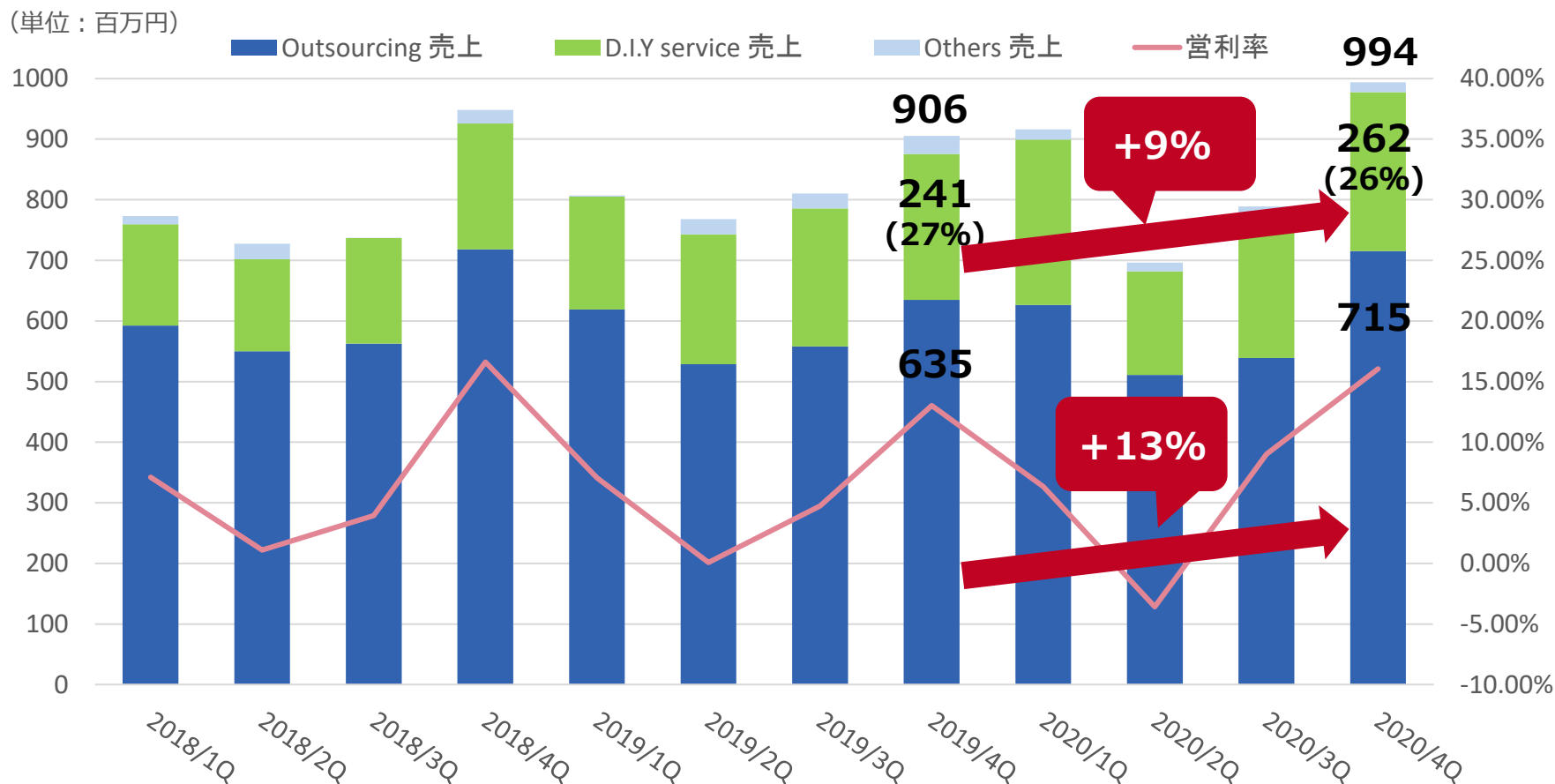
2. 決算概要

(単位：百万円)	2019 1-12月	2020 1-12月	前年比
売上高	3,290	3,394	103.2%
売上原価	1,689	1,809	107.1%
売上総利益	1,601	1,585	99.0%
（売上総利益率）	48.7%	46.7%	▲2.0pt
販売費及び一般管理費	1,388	1,322	95.2%
（販管費率）	42.2%	38.9%	▲3.3pt
営業利益	213	263	123.7%
（営業利益率）	6.5%	7.8%	+ 1.3pt
経常利益	193	241	124.3%
当期純利益	137	175	127.9%

(単位：百万円)	2019 12月末	2020 12月末	前期末比
流動資産	1,700	1,823	107.3%
現金及び現金同等物	727	913	125.5%
固定資産	383	408	106.3%
資産合計	2,083	2,231	107.1%
流動負債	690	739	107.0%
固定負債	14	8	61.6%
負債合計	705	748	106.1%
純資産	1,378	1,483	107.6%
(純資産比率)	66.2%	66.5%	+0.3Pt

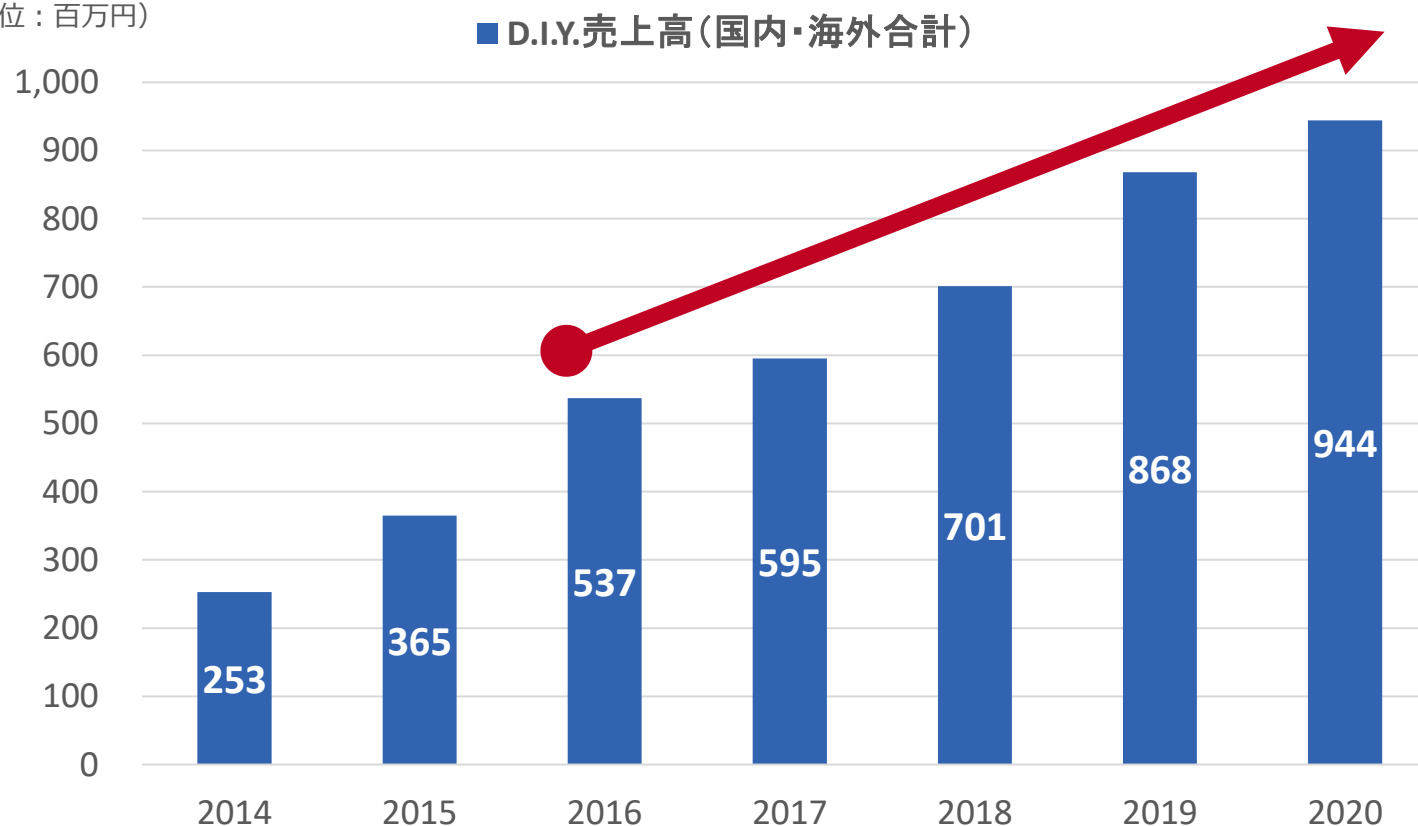
3. 事業の概況

- アウトソーシングサービスは、前4Q比で+12.7%(80百万円増)。主に、国内の大型案件の回復による。
- D.I.Y.サービスは、前4Q比で+8.9%(21百万円増)となるが、それ以上にアウトソーシングサービスが回復したため、売上高に占める割合は26.4%に減少。



- D.I.Y.サービスは、対前年比+74百万円 (+8.6%)
- 過去5年CAGR（平均成長率）15%で、順調に売上高成長を継続している。

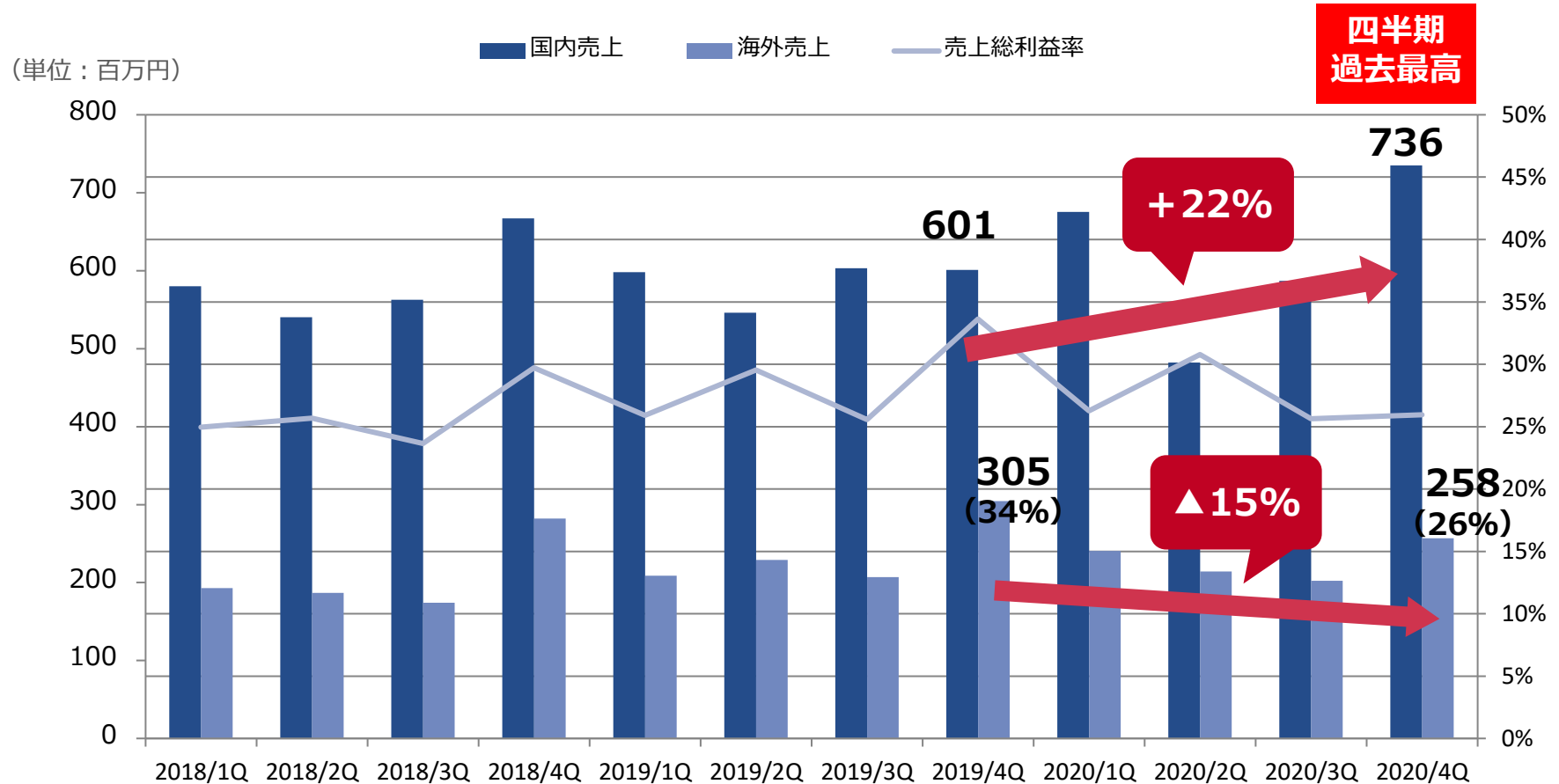
(単位：百万円)



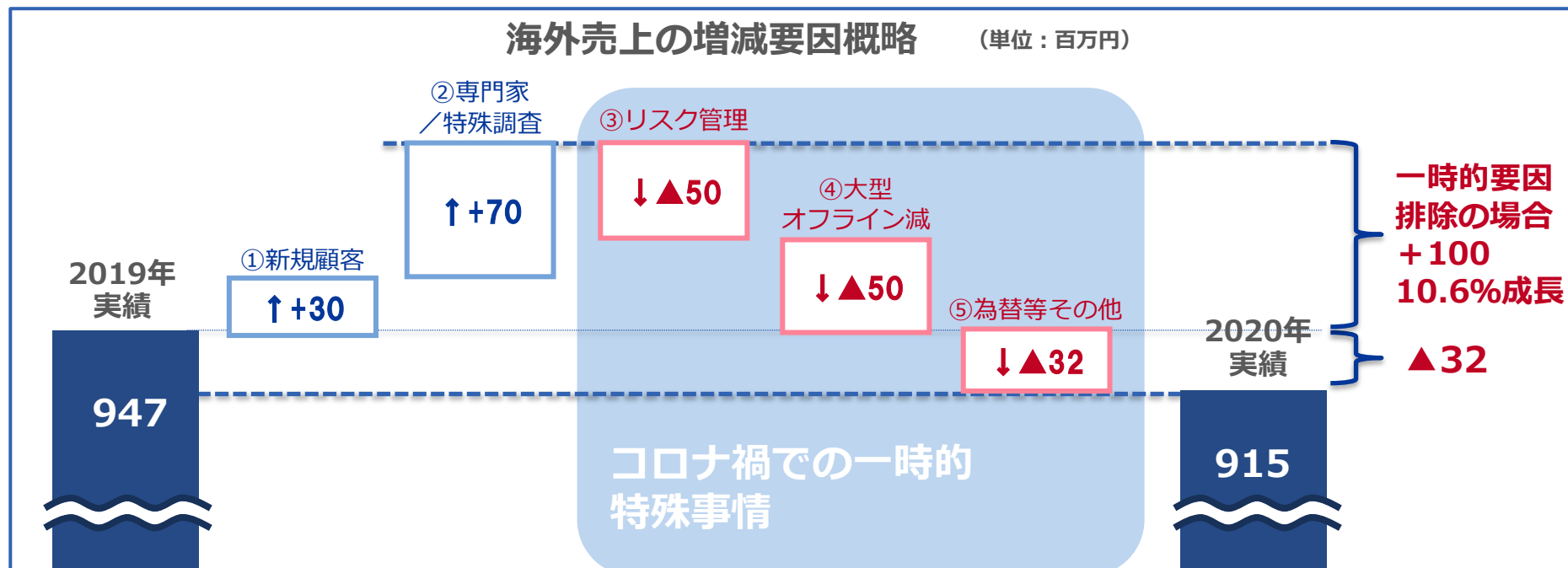
過去5年CAGR
(平均成長率)
15%

D.I.Y.売上高
過去最高更新

- 対前4Q比で、国内+22.4%(+134百万円)、海外▲15.3%(▲46百万円)
- 国内は四半期売上で過去最高を記録
- 対前年比は、国内+5.8%(+136百万円)、海外▲3.4%(▲32百万円)

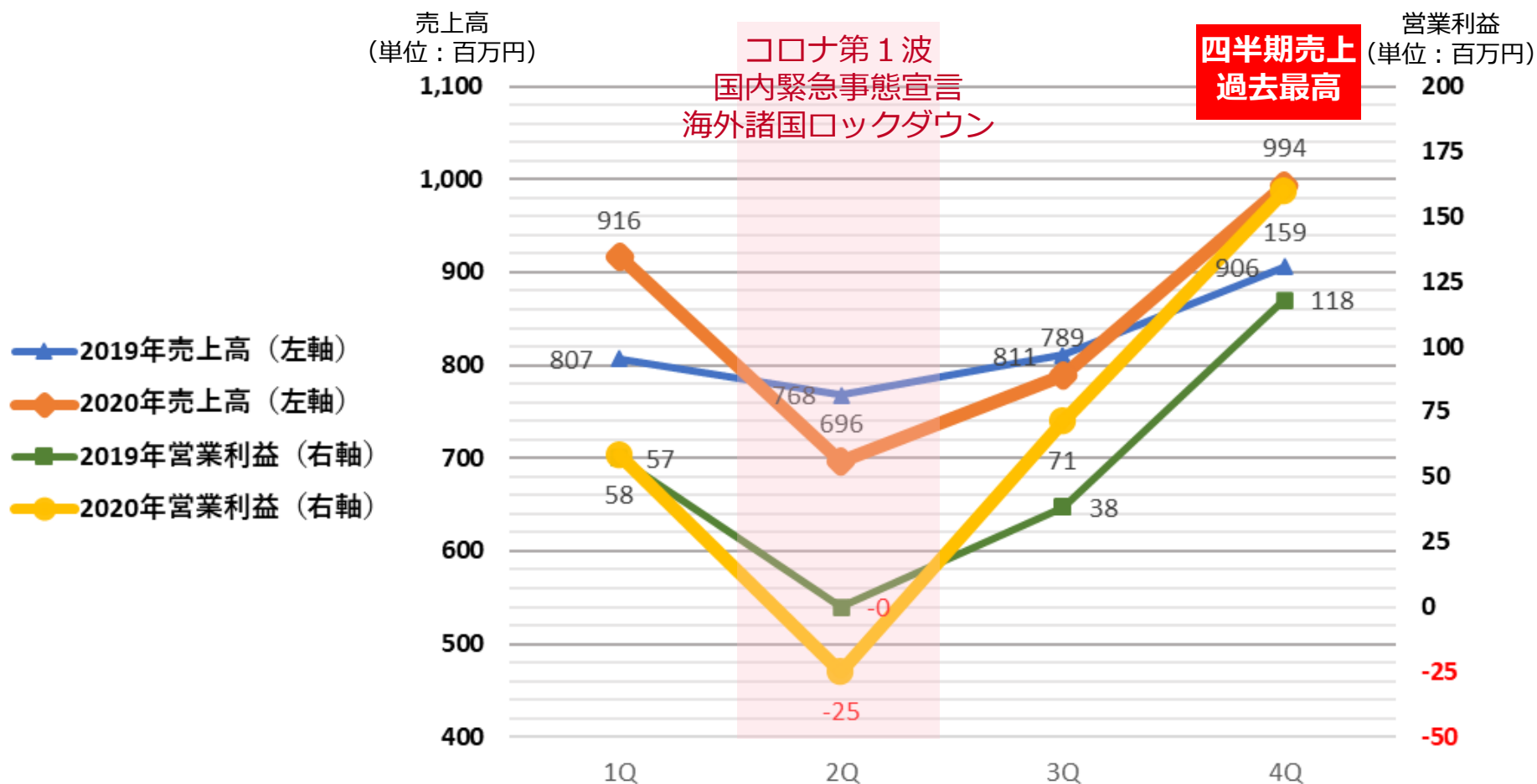


海外事業売上高の32百万円減少は、コロナ禍でのリスク管理強化による受注停止や大型オフライン案件の中止のため。その影響を排除すると前期比+10.6%成長。



- ①新規顧客：当社のリスク管理レベルに適合する優良な新規顧客の開拓による売上増
- ②専門家/特殊調査：ドクターやゲーマーなどの特殊属性を持つパネルへの調査案件の増加
- ③リスク管理：コロナ禍で与信・債権回収のリスク管理レベルを引き上げ、一部顧客からの受注をストップ
- ④大型オフライン減：コロナ禍により、例年実施される大型オフライン調査案件の中止等による受注減
- ⑤為替等その他：円高等の要因による減少

- 2Qに売上高・営業利益が落ち込んだが、3Q以降は順調に売上高が回復。
- また、コロナ禍での新しいビジネス様式へのスムーズな移行や生産性改善、コスト構造改善などにより、収益性も改善した。

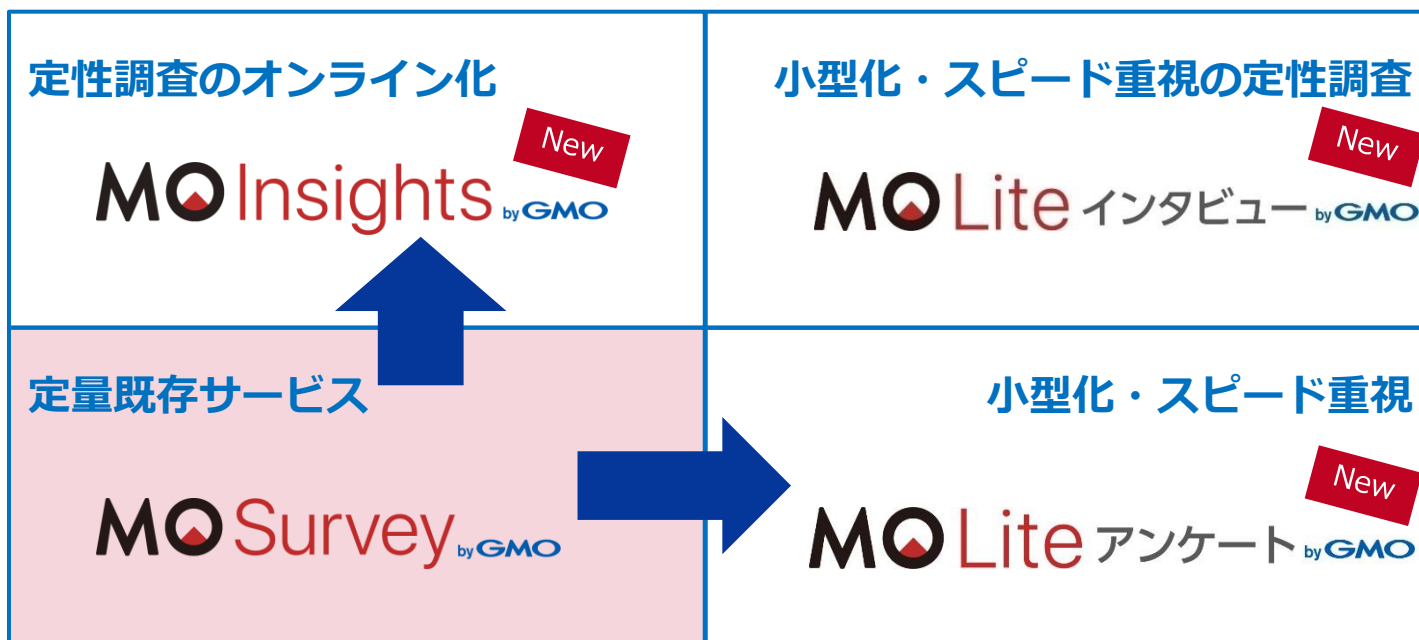


4. 2021年事業戦略

2020年は業界の変化に相応した各種商品ラインナップを拡充しました。

変化1. 定性調査のオンライン化

定量調査だけでなく、インタビュー等の定性調査もオンラインに急激にシフト



変化2. 小型化・スピード重視

小型化：DIYで安価にスピード重視でPDCAサイクル

2020年3月に新クラウドソリューションサービス「**MO Insights byGMO**」
(以下、「MO Insights」)をリリースしました。



① オンラインで
インタビュー機能



② インサイトを掴む
チャット機能



③ 画像や動画も簡単
ボード機能

「MO Insights」は、クラウドパネルネットワークに登録されているアジア15の国と地域の消費者とリアルに対面することなく、オンライン上で定量・定性調査を完結することができるクラウドソリューションサービスです。

2020年8月に「**MO Liteアンケート byGMO**」をリリースしました。
 お客様ご自身が作られたアンケートを、当社のクラウドパネルに連携して、お客様ご自身で簡単に安価にアンケートを配信できるツールとして公開しました。

各種アンケートシステム連携（オープン戦略、利便性優先）

サーベイモンキー



MarketObserver

シンプルサーベイ（無料版）



クリエイティブサーベイ



Google フォーム



差別化

他社サービス （囲い込み戦略）

自社のアンケートツールとパネルがクローズドで繋がり、
 自社顧客の囲い込みを狙う



2020年11月に「**MO Liteインタビュー byGMO**」をリリースしました。
インタビュー対象者のリクルーティングから1対1のインタビューまでをオンライン上で完結できるパッケージ型のオンラインインタビューの提供を開始しました。

対象者募集



対象者選定



実施



「MO Liteインタビュー」は、インタビュー対象者のリクルーティングから1対1のインタビューまでをオンライン上で完結できるパッケージ型のオンラインインタビューサービスです。

オンラインインタビューは、通常のオフライン調査で必要となるインタビュー実施会場や録画・録音機器の手配などが不要なため、コスト削減にもつながります。

- 自社媒体を含む、**業界最大規模**のアジアパネルネットワークを構築
- アジア15の国と地域3,800万人超
→大型、複数ヶ国にまたがる案件等に対応可能であり、競争力、提案力が高い

 **ベトナム**


<https://infoq.vn/>
 (GMO RUNSYSTEM)

 **中国大陸**


<https://www.zcom.asia/>
 (技募驿动市場調査
 (上海)有限公司)

 **ミャンマー**

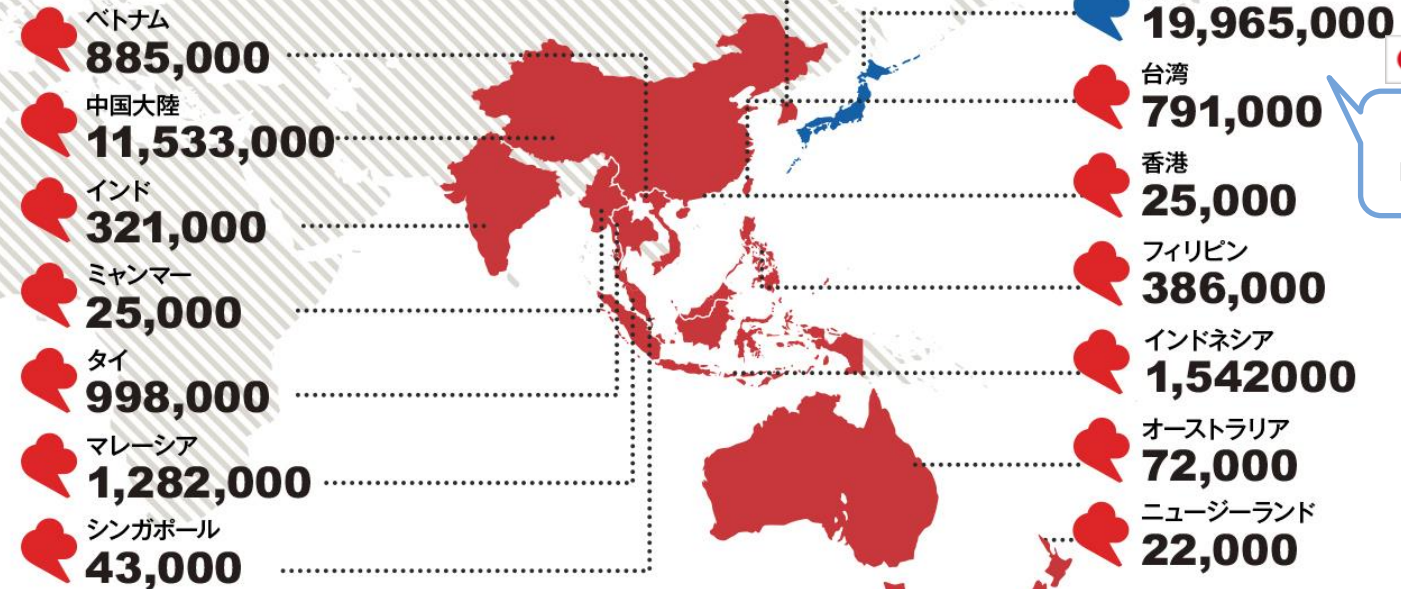

<https://mm.zresearch.asia/>
 (GMO-Z.com ACE Co., Ltd.)

 **タイ**


<https://research.z.com/th/>
 (Net Design)

GMO RESEARCH

ASIA CLOUD PANEL

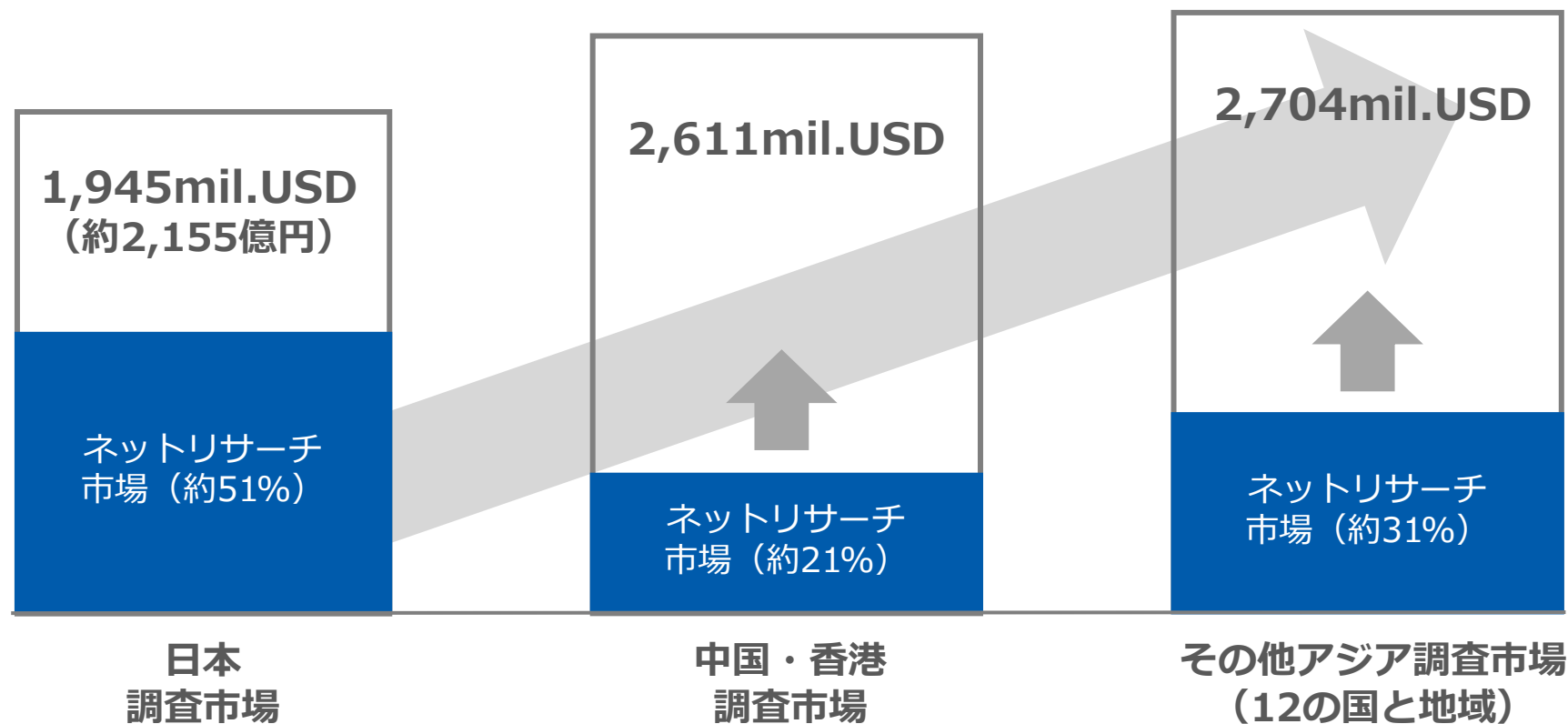


 日本


<https://infoq.jp/>

2021年1月現在

- アジア地域のインターネットリサーチ市場はオンライン化が進み、今後さらに拡大すると予想
- 欧米企業と比較し、日本からのアジア展開は地理的、文化的優位性あり
- まだ**アジア調査**でのビッグプレイヤーは不在のため、**圧倒的No1**を目指す



『Global Market Research 2020』(An ESOMAR Industry Report) より

5. 2021年業績予想

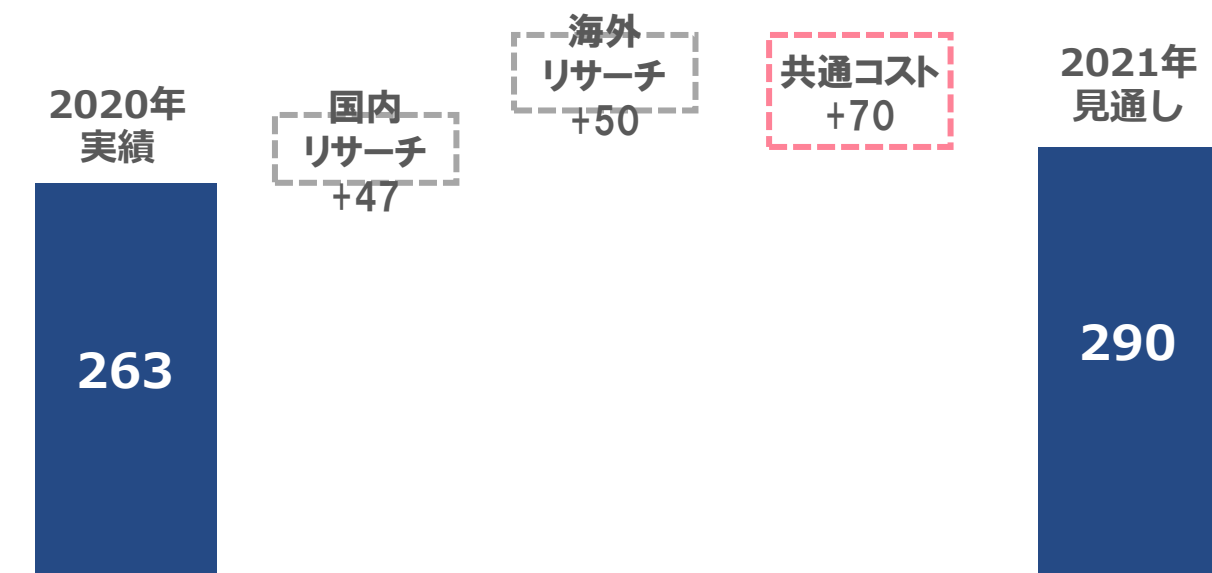
- コロナ禍であっても売上高は成長軌道に回復すると見込み、10%成長を想定
- 各段階利益についても、概ね売上高の増加に比例して増加することを見込む

(単位：百万円)	2020 実績	2021 見通し	対前年増減率
売上高	3,394	3,734	+10.0%
営業利益	263	290	+10.0%
経常利益	241	265	+9.9%
最終利益	175	190	+8.2%

- 国内事業・海外事業ともに、売上高の増加に比例して営業利益も増加する見通し
- 共通コストは、事業成長を支えるためのシステム整備強化やグローバルの経営管理機能の強化などによる増加を見込む

営業利益の増減要因イメージ

(単位：百万円)



2021年度の配当予想につきましては、業績に連動した配当（配当性向50%）を目標とする配当の基本方針により、2021年最終利益予想にもとづき、1株当たり58.25円と予想しております。

	2019年度	2020年度	2021年度	前年度比
	実績	(予定)	(予想)	
1株当たり年間配当金 (円)	42.11	53.86	58.25	+4.39
総配当性向 (%)	50.2%	50.0%	50.0%	-
1株当たり当期純利益 (円)	83.95	107.73	116.52	+8.79

6. Appendix

- 当社のフィロソフィー
- ビジネスモデル①②
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとD.I.Y.サービス
- MOラインナップおよびサービス説明資料
- 各拠点人員数推移

想いを、世界に

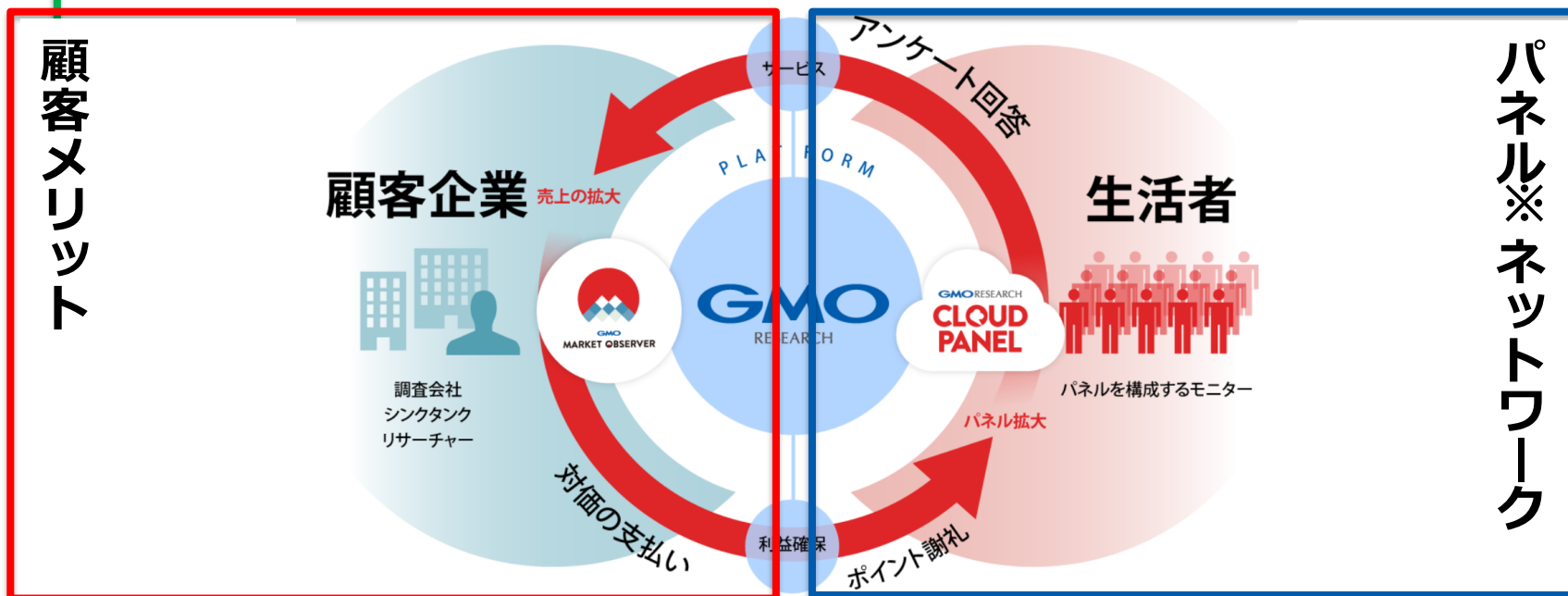
Engaging people around the world

GMO RESEARCH

～私たちは、生活者と企業の「想い」に向き合い
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、
笑顔・感動の創造に貢献する～

- インターネット上で、アンケート調査を手軽に利用できる仕組みを国内外の顧客企業に提供
- 顧客企業（案件量）と生活者（パネル会員ネットワークの規模）を両輪で拡大させる

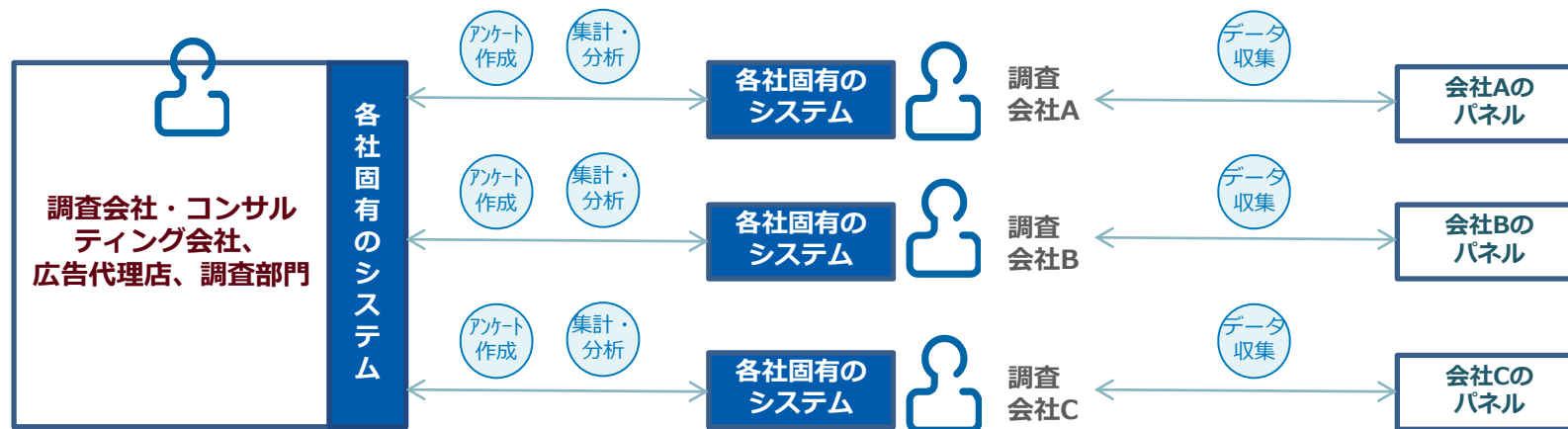
海外展開



※パネルとは、調査に回答する一般消費者やビジネスパーソン

- ・アジア最大規模のパネルネットワークを利用し、調査パネルを低コストで提供
- ・従来、各社バラバラに開発していた、インターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供

従来



業界の
業務標準化

標準化



サービスの名称		サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	オンラインのアンケート画面作成、アンケート案内配信、アンケートデータの回収、クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供するサービスです。「MO Insights byGMO」(*1)はここに含まれます。また、アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービス(CPAT)も提供しています。
	Sample Supply	顧客が自社内でオンラインのアンケート画面を作成している場合に、当社グループが回収管理(プロジェクトマネジメント)を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供するサービスです。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)	インターネットリサーチにおいて、当社グループがサービスインフラとパネルのみを提供するサービスです。「MO Lite アンケート byGMO」(*2)及び「MO Lite インタビュー byGMO」(*3)が含まれます。
	システム関連売上(*4)	当社グループの研究ソリューションプラットフォームであるGMO Market Observer(*5)を、顧客のリサーチプラットフォームとして提供するサービスです。
その他サービス	コンベンショナル調査など	コンベンショナル調査は、オフライン(現場)で実施する調査手法です。

*1 MO Insights byGMO

消費者への定量・定性調査をオンラインで完結できるクラウドソリューションです。

*2 MO Lite アンケート byGMO

顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスです。

*3 MO Lite インタビュー byGMO

国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができる、パッケージ型のオンラインインタビューサービスです。

*4 システム関連売上

D.I.Yサービスのシステム関連売上は、当社グループはシステムのみを提供するビジネスモデルです。

*5 GMO Market Observer

当社グループが開発・提供しているインターネット上でリサーチ業務のすべてを完結できるリサーチソリューションプラットフォームの総称であり、「Market Observer」は当社の登録商標です(登録番号5671869号)。

		アウトソーシングサービス		D.I.Y.サービス	
サービス名称		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程					
1. 調査設計		顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
2. 調査画面 作成		GMO Research	顧客	顧客	
3. プロジェクト マネジメント		GMO Research	GMO Research	顧客	
4. パネル管理		GMO Research	GMO Research	GMO Research	
5. Cloud Panel 利用		GMO Research	GMO Research	GMO Research	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。



GMO
MARKET
OBSERVER

ラインナップ

調査ツール

MO Survey by GMO

★高機能アンケートツール

MO SimpleSurvey by GMO

★無料簡易・アンケートツール

MO Insights by GMO

New

★ライブインタビュー、
オンライン定性調査ツール

調査配信 プラットフォーム

MO Basic by GMO

★高機能の配信、調査管理
プラットフォーム

MO Lite アンケート by GMO

New

★簡易的・自動ターゲット
配信プラットフォーム

MO Lite インタビュー by GMO

New

★簡易的ライブインタビュー、
オンラインインタビューツール

Data Warehouse

MO CDP by GMO

New

★15か国3600万人の回答
属性等をベースに、各種
プラットフォーム連携が可能

調査パネル 運営ツール

MO Panel Management by GMO

★自社の顧客をパネルとして活
用するためのパネル管理ツール

各拠点における正社員数の推移

(単位：人)

	東京	下関	シンガポール	マレーシア	インド	中国	正社員合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、営業補助 国内パネル管理補助 その他業務補助 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 東南アジアパネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米、東南アジアPJ管理、営業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 営業 PJ管理 中国パネル管理 	
2017年1月1日時点	87	—	2	—	15	9	113
2017年7月1日時点	92	2	2	—	16	10	122
2018年1月1日時点	91	8	4	—	16	7	126
2018年7月1日時点	94	20	4	4	15	8	145
2019年1月1日時点	88	24	3	4	14	8	141
2019年7月1日時点	96	30	3	5	14	8	156
2020年1月1日時点	97	28	3	6	14	8	156
2020年7月1日時点	100	29	3	6	14	5	157
2021年1月1日時点	105	29	3	6	15	4	162
半期人員増減数	+5	±0	±0	±0	+1	-1	+5
補足	海外エンジニア採用	—	—	—	営業体制強化	異動	—

想いを、世界に — GMOリサーチ

GMO RESEARCH

Engaging people around the world

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。